

2021年度
5月号

と も る 岳

石垣市立 明石小学校
あかし幼稚園だより



2021年 5月 6日
発行者：校長・園長 上原 麗子
石垣市宇伊原間 249 番地
TEL 0980-89-2142 FAX 84-5275
E-mail : akaish-s@ishigaki.okinawa.jp



4月14日 交通安全教室

低学年と高学年に分かれて実施された交通安全教室・・・
体育館で全体的なビデオによる説明を受けた後、横断歩道の渡り方や、正しい自転車の乗り方等を確認しあいました。



21日 図書館開き

図書館開きでは、図書委員が図書館でのルールや協力お願いを上手に伝えてくれていました。



22日 視力聴力検査

歯科、内科、視力、聴力と4月は、元気に育っているかな。。と検査が一杯でした。体育館での視力検査。おりこうさんに静かに待てる明石っ子でしょ～



24日 避難訓練 キビ補植作業 PTA 総会

先日の避難訓練では、児童園児在園時における津波襲来を想定し引き渡し訓練を行いました。実際の場合にも起こるであろう課題もみえ、有意義な訓練となりました。また土曜日は、PTA 総会后に、全児童、保護者、職員によるキビ補植作業を行いました。

事業部長の當山さんから補植作業説明を受け、大人も子供も力を合わせて無事全面完了！
前日、補植苗取り作業は事業部を中心にお父さん達が夕方遅くまで大活躍してくれました。
石嶺牧場さんから補植道具材料の無料提供もありました。
皆さんからもお礼を・・・
キビSDGsへのご理解とご協力に感謝です。
ありがとうございました



28日 こいのぼり集会 1年生を迎える会

少しずつ学校生活に慣れてきた1年生を迎える会とこいのぼり集会が児童会のリードで開かれました。保護者の方のアイディア満載のこいのぼりを眺めるたび、子ども達への愛情を感じ自然と笑顔になります。ご協力ありがとうございました。



5月 予定 (斜体は幼稚園)

1	土	
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	チャレンジタイム
7	金	チャレンジタイム 職員作業日
8	土	
9	日	
10	月	チャレンジタイム
11	火	読書
12	水	生活朝会 パワーアップタイム
13	木	チャレンジタイム 授業参観 学級懇談会 5.6校時
14	金	チャレンジタイム 校外研修 (道徳講座)
15	土	
16	日	
17	月	チャレンジタイム
18	火	第1回集合学習 (野底小)
19	水	校長講話 校内研修 (QU) パワーアップタイム
20	木	チャレンジタイム
21	金	チャレンジタイム 石垣市学力向上推進総会
22	土	
23	日	
24	月	チャレンジタイム
25	火	読み聞かせ
26	水	委員会活動 学級の日 学推校内研推進委員会
27	木	チャレンジタイム 全国学力学習状況調査(6年)
28	金	チャレンジタイム
29	土	
30	日	
31	月	チャレンジタイム 尿二次検査

自転車全国大会中止の為
県大会 11月 地区大会 2学期予定
裏面もご覧下さい

生活目標 ◎健康・安全に気をつけましょう

自分の命は 自分で 守る

2011年3月の東日本大震災・・・早いもので10年の月日が流れているのですね・・・いまだ現地では復興の日々が続いている様子をニュースで見るたびに、子ども達の危機回避能力をしっかり育てなくてはならないという思いを強くします。先日の引き渡し訓練において、学校独自での課題は把握できました。今後は、児童園児在籍時に津波襲来を想定した明石集落住民との合同訓練へ繋ぎ、そこで浮かび上がる課題を洗い出して、有事に備えなくてはならないと考えています。明石小学校は、校舎海拔10m、運動場では海拔3mとなっています。そこで本校では、簡易訓練を含めた年間6回の津波避難訓練を実施しています。250年前の石垣市の記録から学び、正しく恐れ、備えることが大切です。児童園児が学校にいる時の訓練は、毎年実施されます。

ご家庭でも、ぜひ在宅時、近所で遊んでいる時、保護者不在時とか、想定される場面を描き、子ども達と共に家庭の避難の約束ごとを確認しておきましょう。

「自分の命は自分で守れる明石っ子」を一緒に育てて参りましょう。

八重山毎日新聞 2021年4月23日(金)

津波被害想定

出典:沖縄県(一部加工)

市町村	島名	代表地点	到達時間(分)	最大遡上高(m)
石垣市	石垣島	平野	5	24.5
		明石	12	23.9
		伊原間	12	35.0
		伊野田	15	38.4
		大里	10	36.0
		白保	8	23.4
		宮良湾	9	24.2
		大浜	7	26.6
		登野城漁港	8	18.0
		石垣港	12	14.9
		名蔵湾	30	7.8
		川平湾	15	14.7
		浦底湾	17	16.4
		野底	11	10.7
		船越漁港	14	19.4
平久保	6	14.7		
竹富町	竹富島	竹富東漁港	23	11.8
		カイジ浜	20	9.4
	黒島	黒島東岸	14	13.2
		宮里	11	11.0
	黒島港	黒島港	17	10.5
		小浜港	27	7.2
	小浜島	ビルマ崎	23	12.8
		細崎漁港	29	7.7
	新城島	上地	18	10.9
		下地	16	16.6
	鳩間島	鳩間港	28	8.0
		船浦	37	7.8
	西表島	高那	41	8.0
		古見	27	9.8
		仲間港	17	11.9
南風見		18	23.8	
鹿川湾		20	40.4	
波照間島	船浮港	29	8.3	
	干立	23	14.9	
	浦内	25	16.9	
	波照間漁港	14	23.8	
与那国町	与那国島	波照間空港	7	18.5
		祖納港	19	10.8
		比川	14	14.4
		久部良漁港	17	11.9

明和 大津波から 250年

◇⊕◇

「明和級」再来の可能性を示唆する。先島諸島は日本でも有数の地震・津波の「常襲地帯」だ。1771年の明和大津波以前にも数度大きな

津波が襲来したことが歴史資料や地質学的証拠、考古学の中村篤教授は近い将来「明和級」再来の可能性を前置きした上で「およそ500年に1度は発生している」と分析、「いつ起きるか分からないが、(先島側の)沖縄トラフの計16断層で津波が発生した場合の影響を予想し、県内各地の津

波到達時間と最大遡上高を示している。八重山で津波が最も早く到達するのは平野。わずか5分である。平久保が6分、大浜と波照間空港が7分と続く。八重山の全41地点のうち約半数の19地点が15分以内に到達する。最大遡上高は西表島鹿川湾で40・4m、伊野田で38・4m、大里で36mを想定。20mを超える地点は計11地点に及ぶことから、八重山では高い津波が短時間で到達することが分かる。

後藤教授は「八重山は国内でも避難の難易度が最も高い地域」と指摘。「東日本大震災では仙台市が津波到達まで1時間、岩手では早いところで30分だった。逃げる時間は十分確保できたが、八重山の場合それが全くない」と憂える。ではどう行動すべきか。「その場、その瞬間で危険性を察知して、すぐに逃げる判断をしなければならぬ。住民、観光客が防災意識を向上させていくことが重要になる。防災訓練を継続するなど、いかに対策をアップデートできるかが鍵だ」。(崎山拓真記者)

地震・津波の常襲地帯

避難の難易度「最も高い」

くさ返し

「250年というのはひずみがたまる十分な期間。地震学を専門とする琉球大学の

中村教授はその頻度について「ばらつきがある」と

「津波浸水想定」は、太平洋側の琉球海溝と東シナ海側の沖縄トラフの計16断層

「明和級」再来の可能性を示唆する。先島諸島は日本でも有数の地震・津波の「常襲地帯」だ。1771年の明和大津波以前にも数度大きな津波が襲来したことが歴史資料や地質学的証拠、考古学の中村篤教授は近い将来「明和級」再来の可能性を前置きした上で「およそ500年に1度は発生している」と分析、「いつ起きるか分からないが、(先島側の)沖縄トラフの計16断層で津波が発生した場合の影響を予想し、県内各地の津波到達時間と最大遡上高を示している。

到達時間の短さ

去の教訓を生かし、避難行動や防災意識を高めていく必要がある」と指摘する。

波到達時間と最大遡上高を示している。八重山で津波が最も早く到達するのは平野。わずか5分である。平久保が6分、大浜と波照間空港が7分と続く。八重山の全41地点のうち約半数の19地点が15分以内に到達する。最大遡上高は西表島鹿川湾で40・4m、伊野田で38・4m、大里で36mを想定。20mを超える地点は計11地点に及ぶことから、八重山では高い津波が短時間で到達することが分かる。